

東京は、なんてたって水あまり!

ハッ場ダムをストップさせる東京の会

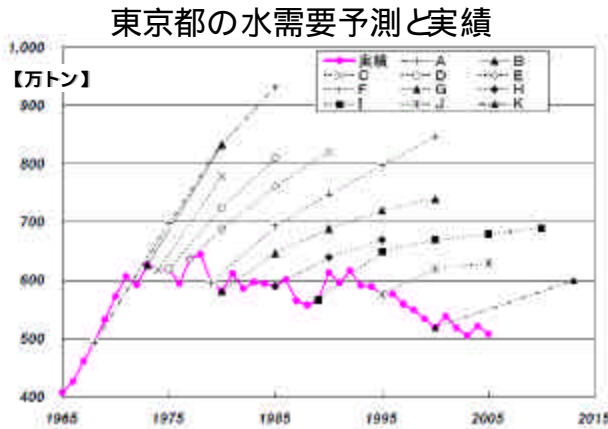
1. 2006 年の裁判

- ・第7回裁判(弁論準備)2 / 16 : 裁判所による論点整理。
- ・第8回裁判4 / 11 : 原告利水の主張をパワーポイントで説明。
- ・第9回裁判7 / 4 : 被告提出の利水反論の矛盾点を原告側弁護士が鋭く指摘。
- ・第10回裁判10 / 17 : 原告利水・治水・危険性の主張をパワーポイントで説明。

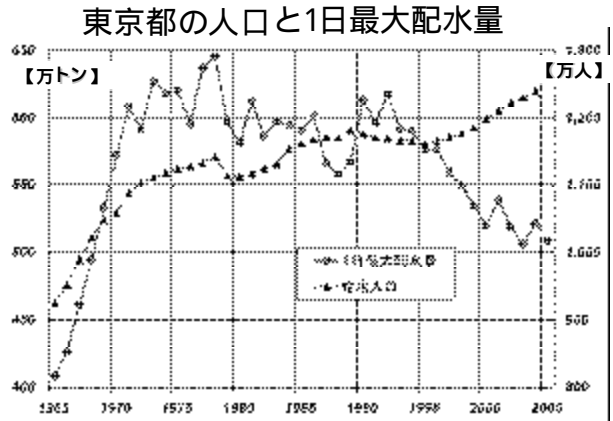
2. 2006 年の主な活動

- ・第2回総会3 / 18 : 裁判の論点をみんなで確認。日独裁判官物語上映。
- ・事業評価委員会委員との懇談1 / 25、2 / 22、4 / 21、5 / 8
- ・学習会5 / 13小平、10 / 7狛江、11 / 11稲城
- ・日帰りバスツアー11 / 12 : 「ハッ場いのちの輝き」イベントつながりからの初参加者も。

3. 東京の特徴は見事なまでの水あまり

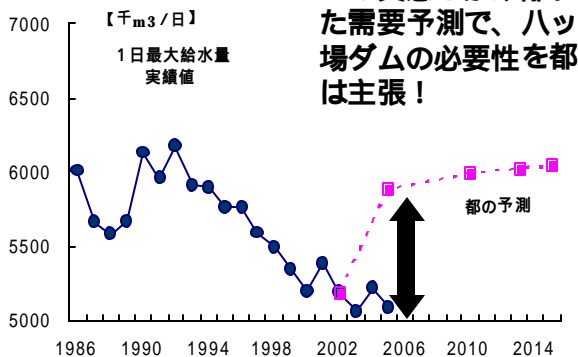


東京都の予測は、はずれっ放し



人口が増えても、水の使用量はどんどん減っている

需要面から



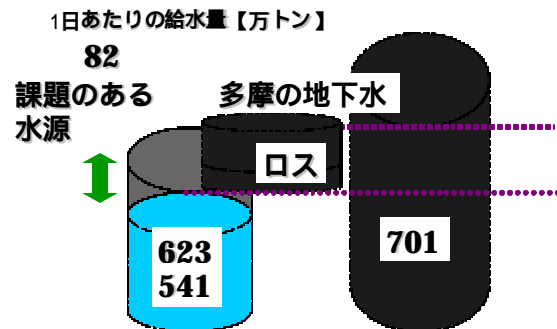
懲りずにまたもや過大予測

オリンピック湧水以降、東京都は水利権を次々に取得。

現在保有水源量は701万トン、2005年度の1日最大配水量は508万トン。

さらにハッ場ダムを造って、東京に水を集めるのだろうか。

供給能力の過小評価



東京は水大尽